

かえで story 第10号 2017.5.24

圧巻の壁画ができるまで…

毎年職員玄関付近で公開されている壁画は、台紙に小さな色紙のピースを敷き詰めて作られたパーツをたくさん繋げ合わせることでできた巨大なモザイクアートです。

実行委員企画管理部はこの製作の中心を担っており、色紙をピースにする作業から、パーツになったものを繋ぎ合わせて補強し、公開場所に壁画を吊り下げるまでの一連の作業を行っています。中には色紙がはがれてしまうものや、貼り付ける色が間違っているものなどもあるため、すべてのパーツを点検し、これらを修復するという細かい作業も行っています。

また、パーツの製作はすべて手作業で行われており、その作業量は膨大なため、各クラスに担当が割り振られています。さらに各クラスでは生徒たちが分担して作業を行っているため、ほぼすべての生徒が作成に携わっています。

こうして作られる壁画は、まさに「小さな努力が集まった、努力の結晶」なのです。

現在、一枚一枚のパーツを繋ぎ合わせる作業は着々と進み、その全体像が明らかになりつつあります。一人一人の地道な作業の上に成り立っている壁画、ぜひ一度立ち止まって、その輝きをご覧ください。

